

## 災害復興科学センター設置

平成18年4月に、災害復興科学センターが設置されました。当センターは、平成16年に発生した新潟豪雨災害及び新潟県中越地震からの復興について、総合的な学術調査に基づく支援を目的としたもので、旧積雪地域災害研究センターを改組・拡充し発足しました。

中越地震は、日本の「原風景」ともたとえられる中山間地域で大きな被害がでたこと、加えて中越地域は世界的な豪雪地域で、地震・豪雪複合災害であることも大きな特徴です。中越大震災の復旧・復興は、日本の国土でも最も広い面積をもち都市での生活を支える中山間地域で、これから予測される災害に対して多くの貴重な教訓を発信するものです。

当センターは、生活安全、地域産業支援、防災、情報通信の4部門からなり、このもとに専門別の13分野が属す総合的な組織で、総数68名の教員（専任8、特任5、兼任53、客員2）から構成されます。



妙見崩れ

■連絡先／災害復興科学センター  
TEL025-262-7051

## 大学院技術経営研究科設置

### 大学院技術経営研究科で何を学ぶのか

組織ではその目的遂行のために、個々の担当者が分担して仕事を進めることとなりますが、個々人の能力に大きく依存した仕事の進め方がなされ、組織全体の能力を発揮しているとは言い難いことが多くあります。

それぞれの組織には、いろんな分野に長けた人がおり、また経験豊富なベテランもいれば、必ずしもそうでない人もいます。いろんな分野に秀でた周りの人たちの力を借りることによって、担当者が見落としがちな隘路にも気づき、組織としての知力・脳力を活かした仕事ができれば、組織としての成果を最大にすることができます。

このような周りの人たちの知力・脳力を結集することによって、担当者ひとりでは陥りがちな推論の隘路にも気づき、的確にしてタイムリーに決断・実行する「組織として仕事をする」方法を学ぶことが求められます。

日々に遭遇する未知の課題に対し、このような組織の知の循環を通して、担当者ひとりでは考えられないようなすばらしい仕事ができるように、問題解決能力を育成することが本研究科の目指すことです。モノづくり技術開発基地としての新潟地域産業のイノベーションを図り、世界に向けて発信し続けていくサポート機能を担った専門職大学院です。

大学院技術経営研究科長  
栢田 正美



■連絡先／大学院技術経営研究科学務第一係  
TEL025-262-6332

## 新潟大学全学同窓会設立 —記念式典と祝賀会—

新潟大学の法人化と時を合わせて発足した新潟大学全学同窓会連絡協議会は、2年間の準備期間を経て、平成18年4月1日より、新潟大学全学同窓会として正式に発足しました。

今までどおり既存の9つの各学部同窓会が中心になることは同じですが、それに教職員による校友会会員、大学院修了生や協賛企業などを加えて、新潟大学を強力に支援する10万人のサポート団体が誕生したのです。

5月27日、各学部の同窓会代表と校友会の代表による理事会が開催され、予算の承認とともに、「同窓会カード」事業の推進、同窓会旗の制作などが決議されました。

同日開催された全学同窓会設立記念式典はホテルイタリヤ軒を会場に、柳本雄司会長・長谷川彰学長の式辞のあと、泉田裕彦新潟県知事、上原明新潟商工会議所会頭の来賓挨拶がありました。

祝賀演奏として管絃四重奏と「新潟大学学生歌」などの合唱があり、記念祝賀会に入りました。多和田孝雄副会長の主催者挨拶につづいて、篠田昭新潟市長の来賓挨拶、荒川正昭前学長の乾杯の音頭で賑やかに開会し、大石道明首都圏同窓会会長など多士済々の飛び入り挨拶や、シンボルマーク制定にご協力の橋本学先生への感謝状の贈呈もあり、



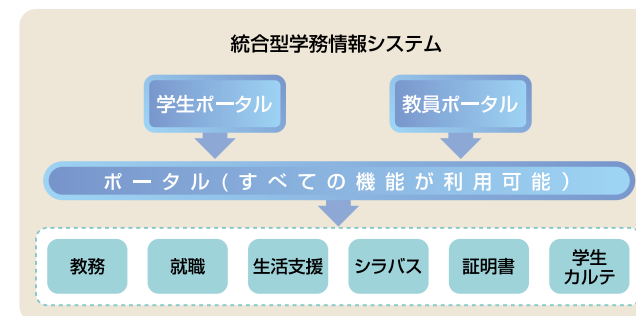
田中隆一副会長の閉会の辞で、全学同窓会設立の祝賀会は盛会裡に終了しました。

新潟大学全学同窓会会長  
柳本 雄司

■連絡先／新潟大学全学同窓会 TEL025-262-7891

## 8月から学務情報システムが生まれ変わりました!

新潟大学では、開講しているすべての授業科目を学生のみなさんが有効に受講できるようにしたり、特定分野の学習成果を認定する副専攻制度を導入したりするなど、新たな学士課程教育をめざした教育改革を行っています。



このような教育改革を強力にバックアップするため、みなさんが履修申請や成績の確認などで利用している現在の学務情報システムを、ポータルによるWebサービスへと一新しました。

新しいシステムは、これまでの機能に加えて、ポータルを通じて、必要な情報がすぐに見られるようになるなど、大変便利になりますので、積極的に活用してみてください!

■連絡先／全学教育機構学務情報部門  
support-ness@ge.niigata-u.ac.jp

新学務情報システム URL  
<https://ness.niigata-u.ac.jp/>

関連情報 URL  
<http://www.ge.niigata-u.ac.jp/iie/gakumu/gakunai/ness/>  
(学内参照のみ)



## 学務部からのお知らせ

### 新設 学業等成績優秀者奨学金制度新設

平成18年度から、新潟大学が独自に、学部学生を対象とした新たな奨学金制度として、入学試験成績優秀者及び年間学業成績優秀者に返還を要しない奨学金を支給し、顕彰する制度を設けました。



学業等成績優秀者奨学金授与式

この奨学金制度は、優秀な学生の確保及び在学生の更なる学業成績の向上並びに学生の活力の醸成を図ることを目的としています。

奨学金支給の対象者等の概要は、次のとおりです。

- **入試成績優秀者奨学金**／大学入試センター試験を課す入学者選抜試験（特別選抜を除く。）を経て入学した者のうち、入試成績が各学部（医学部は各学科）の上位である者3名（合計30名）に支給
- **学業成績優秀者奨学金**／2年生以上の学生で、前年度に取得した単位数の合計が標準修得単位数以上の者のうち、前年度の学業成績が各学部・各学年の上位である者3名（合計102名）に支給

■ 連絡先／学務部 TEL025-262-7337

### 違法駐車禁止!

本学では、通学距離の遠近にかかわらず、構内駐車を伴う学部学生の自動車通学を禁止しています。

ところが、一部の不心得な学生が、交通事情や実習等により帰宅時間が遅くなることを理由に自動車通学し、五十嵐キャンパス周辺道路又はコンビニエンスストア等の私有地に無断で長時間にわたり違法な駐車を行っています。

このことから、周辺住民から大学に対し、違法駐車への苦情や対策強化を望む申し入れが再三にわたり寄せられています。大学周辺での違法駐車は、地域住民、店舗や通行の迷惑になるばかりでなく、緊急車両等の通行の妨げにもなりますので、自動車の違法駐車はしてはいけません。

学生諸君においても規則を遵守し、自動車通学は絶対にやめてください。

■ 連絡先／学務部 TEL025-262-7506

### 新設 新潟大学修学支援貸与金制度新設

本制度は、学部及び大学院の学生を対象として、安定的な学修環境の確保を支援することを目的に家計事情等の理由により、一時的に必要となる学資（学会参加費、書籍代、教材費、授業料など）の支弁が困難な学生に対して修学支援金を貸与します。

対象者や金額等の概要は、次のとおりです。

- **修学支援貸与金の対象者**  
学部及び大学院生で、家計事情等の理由により、一時的に必要となる学資の支弁が困難となった者
  - **貸与金額**  
無利子の貸与金  
5万円以上10万円までの範囲で選択（万円単位）
  - **貸与申請の時期**  
4月期及び10月期とする。家計等急変者は、年度を通じて随時とする。所定の申請書により、申請理由を付す。
  - **貸与者の選考**  
提出された申請書により、学長が選考する。
  - **返還方法**  
借入日から2年以内に返還する。ただし、返還最終日が卒業の日を超えるときは、卒業の日までとする。
- 連絡先／学務部 TEL025-262-7337



新大中門向かいのセーブオン脇

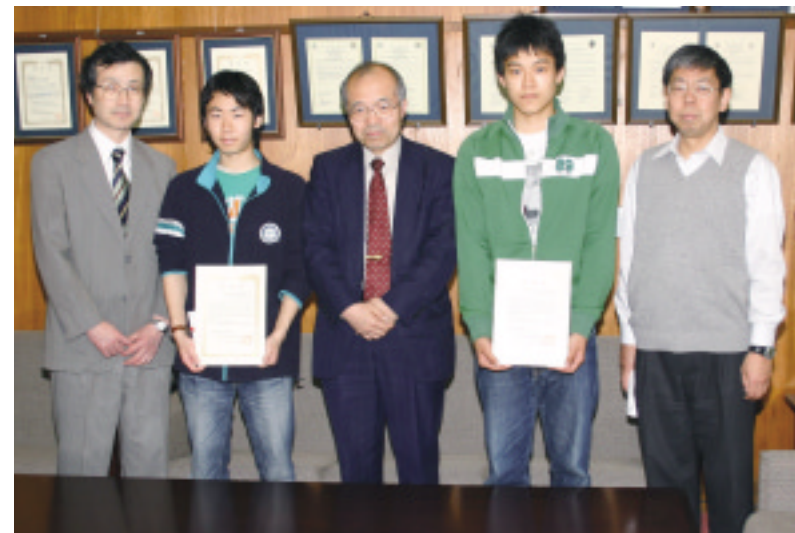
#### 違法駐車として特に問題となっているところ

- 新大西門隣接のコダマ薬局の駐車場
- 新大中門向かいのセーブオン脇の敷地
- 新大西門向かいのセーブオン駐車場

## お手柄! 工学部学生、人命救助で表彰

工学部では、ボランティア活動や課外活動、人命救助等で表彰に値する行為のあった学生を表彰しています。このたび、5月17日工学部において、仙石工学部長から、機械システム工学科の学生2人に対し、藤澤学科長と間瀬厚生委員立会いの下、表彰状と図書券が授与されました。

表彰された2人は、新入生の高橋竜冬君と豊田貴嗣君で、4月11日午後4時半頃、新潟市内野町の西川（1級河川）に誤って落ち、助けを求めている小学2年の女兒2人を発見、すばやく現場に急行し、近所に住むお年寄りと連携して救助しました。当日の夜に無事救助された女兒の母親から大学へお礼の連絡があり、はじめてわかったものです。工学部では、学生の模範となる行為で、大事故を未然に防いだとして、その功績を称えました。



左から間瀬厚生委員、高橋君、仙石工学部長、豊田君、藤澤機械システム工学科長

### 編集後記

新大広報161号の発行に当たり、全学同窓会のご協力を得ることができ、社会で活躍している先輩から貴重なメッセージを頂きました。感謝申し上げます。ご紹介できませんでしたが先輩にはお詫び申し上げます。これを機会に卒業生と現役の大学生とがうまく連携の取れた企画ができることを期待しています。

● 編集委員長 寺田員人

新潟大学の学生諸君へ、学内のさまざまな情報をお送りしている新大広報。今回から、学外の文化施設へも目を向けてより豊かな知的生活を送ろう、という提案をすることになりました。「りゅーとびあ」と「みなとびあ」には、新潟の文化を牽引する力と情熱があります。ぜひ出かけてみましょう。

● 編集委員 石坂妙子

今回の特集のために、経済学部の古参の先生方や編集担当の諸先生から、多彩に活躍する卒業生のお話を数々伺いました。大きく変化する社会経済環境に旅立つ学生のために、いま大学で何を教えるのか、一人の教員として考えさせられました。

● 編集委員 芳賀健一

今年度、副専攻制度での初めて認定者が出ました。GPA水準など厳しい条件を越えたもので、立派なことです。今回その認定者の方々の文章を読んで、そのバイタリティを感じました。多くの学生さんがチャレンジして、副専攻認定証書を獲得して欲しいと思います。

● 編集委員 竹内照雄

新潟大学のなかで生まれている膨大な情報の「海」から何をCampus Magazineに読み込んでいくのかは大変な作業ですが、今後さらに充実した誌面になっていくものと思います。私自身はこれまで留学生のお手伝いを比較的好くしてきていたのですが、国際交流の特集などもやってみたく考えています。

● 編集委員 井村哲郎

新大広報  
Back  
Number

[http://www.niigatau.ac.jp/gakugai/pr/c\\_forum/](http://www.niigatau.ac.jp/gakugai/pr/c_forum/)

新大広報のバックナンバーは上記のURLから見ることもできます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新潟大学  
ホームページ

<http://www.niigata-u.ac.jp/>

### 広報委員会第1部会

- 部会長・編集委員長  
寺田員人 (医歯学総合病院)  
tera@dent.
- 委員  
石坂妙子 (教育人間科学部)  
ishizaka@ed.  
田中拓道 (法学部)  
takujit@jura.  
芳賀健一 (経済学部)  
haga@econ.  
竹内照雄 (理学部)  
takeuchi@math.sc.  
柴田 実 (医学部医学科)  
mshibata@med.  
川瀬知之 (歯学部)  
kawase@dent.  
林 豊彦 (工学部)  
hayashi@bc.  
末吉 邦 (農学部)  
sueyoshi@agr.  
井村哲郎 (大学院現代社会文化研究科)  
imurai@human.  
杉山博信 (大学院自然科学研究科)  
hydsugi@cc.  
横山肇介 (脳研究所)  
myoko@bri.  
馬淵憲治 (学務部長)  
kmab@adm.
- 事務局 (学務部)  
TEL 262-6309 FAX 262-7516  
E-mailのアドレスは、  
niigata-u.ac.jpの表記を省略しています。